

# 港区新技術検討支援業務委託事業候補者募集要項

## 1 目的

本件は、区における新技術を活用した効果的な施策を実施するため、ドローンやメタバースを活用案の検討・実証実験支援、その他区で本格導入の実績が無い新技術の活用に向けた支援、先進自治体への視察、プロジェクト管理等を行うものです。

本業務の遂行に当たっては、区の現状・課題を的確に把握し、新技術に関する専門的知識やコンサルティングを行う技術的な専門性を活用して最適な提案ができる能力が必要となります。限られたスケジュールで最大の効果を発揮するために、区への支援に当たり、上記能力を持ち合わせるとともに、他自治体等における新技術に関する実証実験・導入支援など、豊富な類似業務の実績と人材を有しつつ、本業務の過程でドローンやメタバースなどを専門とする他事業者とも連携のうえ、適切な体制のもと状況の変化にも柔軟に対応し、支援を行うことのできる最適な事業者の選定を行うため、公募型プロポーザル方式により事業候補者を選考します。

## 2 業務概要

### (1) 件名

港区新技術検討支援業務委託

### (2) 業務内容

本業務は、以下の作業を実施するものとします。

- ①ドローンの活用案の検討、実証実験支援
- ②メタバースの活用案の検討、実証実験支援
- ③その他新技術の活用案の検討、実証実験支援
- ④新技術に関する先進事例の調査・情報提供、民間事業者との連携、補助金活用支援
- ⑤先進自治体への視察支援
- ⑥プロジェクト管理

※詳しくは、「港区新技術検討支援業務委託提案要求仕様書」を参照してください。

### (3) 履行期間

令和6年6月中旬から令和7年3月31日まで

### (4) 履行場所

港区指定場所

### (5) 事業規模

38,000千円(税込)までとします。

※この金額は契約時の予定額を示すものではなく、事業の規模を示すためのものであることに留意してください。また、提案は上記金額を超えないものとし、超えての提案があった場合は受付を行いません。

### 3 参加資格

本件プロポーザルに参加する者（以下「プロポーザル参加者」という。）の参加資格要件は、以下の要件を全て満たす者とし、各要件は、(1)を除き、参加表明書提出日を基準日とします。また、共同事業体を結成し、参加申請する場合、構成する全ての事業者が参加資格に該当することが必要です。

なお、区は、本件プロポーザルの実施期間中又はプロポーザルによる選考後契約締結日までの間においていずれかの要件を欠くこととなった者に対して、プロポーザルの参加資格を取消し、又は契約を締結しない場合があります。

(1) 港区物品買入れ等競争入札参加資格を有すること。

なお、第一次審査（書類審査）までに資格を取得する見込みである場合も可とする。その場合、令和6年5月16日（木）までに「物品買入れ等競争入札参加資格審査受付票（写）」を区に直接持参により提出すること。提出がない場合や、内容に不備等があり期日までに間に合わない場合は失格とする。

(2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に該当する者でないこと。

(3) 経営不振の状態（会社更生法（平成14年法律第154号）第17条第1項に基づき更生手続開始の申立てをしたとき、民事再生法（平成11年法律第225号）第21条第1項に基づき再生手続開始の申立てをしたとき、手形又は小切手が不渡りになったとき等。）にないこと。

(4) 港区競争入札参加有資格者指名停止措置要綱（平成16年7月30日16港政契第238号）に基づく指名停止の措置を受けていないこと。

(5) 港区の契約における暴力団等排除措置要綱（平成24年1月26日23港総契第1157号）に基づく入札参加除外措置を受けていないこと。

(6) 区外事業者がプロポーザルに参加する場合、原則として区内事業者と共同すること。共同事業体を構成する（代表企業ではない）構成員のみ区内事業者であった場合、または、やむを得ず、区外事業者のみで参加申請する場合は、区内事業者優遇に係る加点の対象とはなりません。

(7) 「港区新技術検討支援業務委託提案要求仕様書」に記載している業務を適切に遂行することが可能な豊富な実績と運営・実施体制を有していること。

#### ※ (6) の区外事業者の区内事業者との共同

港区では、区が発注する契約において、区内事業者の受注機会の拡大を図る取組を推進しており、区外事業者がプロポーザルに参加する場合、「区内事業者と共同すること」を参加条件としています。区内事業者が単独で参加したとき、又は、区内事業者と区外事業者で共同事業体を構成して参加した場合に代表企業が区内事業者であるとき、一次審査において、評価点を優遇します（詳細は「港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考基準」を参照してください）。

## 4 選考スケジュール（予定）

事項	日程
募集要項の公表・配布期間	令和6年4月5日（金）から 令和6年5月7日（火）午後5時まで
質問受付期限	令和6年4月19日（金）午後5時まで
質問一斉回答	令和6年4月26日（金）
参加表明書・企画提案書等提出期限	令和6年5月7日（火）午後5時まで
第一次審査（書類審査）結果通知	令和6年5月21日（火）
第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）	令和6年5月31日（金）
第二次審査結果通知	令和6年5月31日（金）
契約手続き	令和6年6月上旬
業務委託開始	令和6年6月中旬

## 5 配布書類等

### （1）配布方法

配布書類は、港区ホームページにて公表します。

※窓口での配布は行いません。

### （2）公表・配布期間

令和6年4月5日（金）から令和6年5月7日（火）まで

### （3）配布書類

#### プロポーザル実施関係

- ① 港区新技術検討支援業務委託事業候補者募集要項
- ② 港区新技術検討支援業務委託提案要求仕様書
- ③ 港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考基準

#### 提出資料関係

- ① 【様式1】 質問書
- ② 【様式2】 参加表明書兼参加資格審査申請書
- ③ 【様式3】 共同事業体構成書
- ④ 【様式3-2】 共同事業体協定書兼委任状
- ⑤ 【様式3-3】 委任状
- ⑥ 【様式4】 事業者概要及び業務実績
- ⑦ 【様式5】 業務従事予定者の経歴及び専任性
- ⑧ 【様式6】 業務従事予定者の配置計画及びスケジュール
- ⑨ 【様式7】 企画提案書
- ⑩ 【様式8】 プロポーザル参加辞退届
- ⑪ 【様式9】 概算費用見積書

## 6 参加表明書・企画提案書等の提出

### (1) 提出受付期間

令和6年4月5日（金）から令和6年5月7日（火）

※午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

※事前に電話予約の上、来所してください。

※提出書類の確認のため、受付には時間を要します。時間に余裕がある際に受付をお願いします。

### (2) 提出先

〒105-8511 港区芝公園1-5-25

港区役所8階 港区企画経営部企画課新技術活用担当

TEL 03-3578-2078

### (3) 提出方法

直接担当まで持参してください。

### (4) 提出資料

#### ①物品買入れ等競争入札参加資格審査受付票（写）

※「港区における競争入札参加者の選定に係る区内事業者の認定基準」により、区内事業者の認定を受けている事業者は「区内事業者認定通知」を添付すること。

【港区物品買入れ等競争入札参加資格を有していない場合】

（ア）登記簿謄本（履歴事項全部証明書等）

（イ）印鑑登録証明書

（ウ）財務諸表（最新の事業年度のもの）

（エ）納税証明書（法人の場合は法人税、法人事業税（地方法人特別税を含む）、消費税及び地方消費税）

（オ）許可等の証明書（写）

※共同事業体を結成し、参加申請する場合は、構成する全ての事業者について提出が必要です。

#### ②【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書

※以下③～⑥は、共同事業体を結成し、参加申請する場合に提出。

#### ③【様式3】共同事業体構成書

#### ④【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状

#### ⑤【様式3-3】委任状

#### ⑥登記簿謄本

#### ⑦加点対象となる地域貢献活動項目がある場合は、各項目指定の提出書類

※該当する場合のみ提出。（詳細は「港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考基準」を参照してください。）

#### ⑧【様式4】事業者概要及び業務実績

※共同事業体を結成し、参加申請する場合は、構成する全ての事業者について提出してください。

#### ⑨【様式5】業務従事予定者の経歴及び専任性

#### ⑩【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール

#### ⑪【様式7】企画提案書

⑫企画提案書概要資料（二次審査プレゼンテーション用）

※二次審査において、プレゼンテーション用に使用する企画提案書の概要資料です。

⑬【様式9】概算費用見積書

※必ず、内訳（工数）が分かる見積詳細内訳書を添付し、本見積書の項目と紐づけて記載してください。

(5) 提出部数

ア (4) 提出資料のうち、①～⑦  
1部

イ (4) 提出資料のうち、⑧～⑬

正本1部、副本10部、提出資料（正本）データを格納したCD-R等 1枚

※提出資料は順番に重ねて、ファイルに綴じてください。正本1部は表紙に事業者名を記入し、副本10部については事業者名を記入しないでください。また、全ての提案書等の中には、事業者名（協力事業者名を含む。）を特定する事項（社名、マーク等）を記入しないでください。

※CD-R等表面には社（者）名を記入してください

(6) 留意事項

ア 各資料はA4サイズ、文字サイズは 11ポイント以上、総ページ数は30ページ以内としてください。

イ 企画提案書概要資料は、全体で5枚以内とし、各提出資料のサイズに合わせてください。なお、企画提案書の記載内容から逸脱しないようにしてください。

ウ 正本、副本とも、各様式に様式番号を記載したインデックスを付してください。

エ 専門用語はJIS規格に準拠し、一般的でない用語を用いる場合は、用語集の作成、用語の定義の追加等により説明を加えてください。

## 7 質問書の受付・回答

(1) 受付期限

令和6年4月19日（金）午後5時

(2) 受付方法

【様式1】質問書に必要事項と質問を記入の上、「13 担当・連絡先」まで電子メールで提出してください。提出する場合は、送信未達を防ぐため、必ず確認の電話を入れてください。

(3) 回答方法

令和6年4月26日（金）に、全ての質疑に対する回答書を港区ホームページで公表します。なお、回答の際、質問者は公表しません。また、意見の表明と解されるものや質疑の内容（質問内容が不明瞭なもの等）によっては回答しない場合があります。

## 8 事業候補者の選考と審査

「港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考基準」のとおりです。

## 9 提案にあたっての注意事項

- (1) 次の各号に該当する場合は、提出書類が無効となる場合があります。
  - ①提出方法、提出先、提出期間に適合しないもの
  - ②記入すべき事項の全部または一部が記載されていないもの
  - ③虚偽の内容が記載されているもの
  - ④この要項に定める手続き以外の手法により、選考委員又は関係者にプロポーザルに対する助言等を直接または間接的に求めた場合
- (2) 本提案に要する費用、旅費その他業務に関する一切の費用は、応募事業者の負担とします。
- (3) 提出書類等の返却はいたしません。
- (4) 提出受付期間終了後の提出書類等の差替え及び再提出は認めません。
- (5) 質問受付終了後は、本業務に関する質問は一切受け付けません。
- (6) 提出された企画提案書は、選考作業に必要な範囲において、複製することがあります。
- (7) 選考された企画提案書に係る著作権は作成者に帰属し、港区は無条件でその使用权を持つものとします。
- (8) 企画提案書に記載した業務責任者は、病気・死亡等極めて特別な場合を除き変更することができません。
- (9) 区は、事業候補者の提案に拘束を受けないものとします。
- (10) 参加表明後にプロポーザル参加辞退する場合は、【様式8】プロポーザル参加辞退届を提出してください。

## 10 その他

- (1) プロポーザル参加者は、本業務その他により知り得た個人情報及び資料、その他守秘すべき情報を他に漏らしてはなりません。
- (2) プロポーザル参加者は、業務の遂行に際して、港区情報安全対策指針を遵守してください。また、プロポーザル参加者は、区が実施する港区情報安全対策指針の遵守状況に関する点検作業に 応じるものとします。点検作業には、情報セキュリティにおいて問題が発生した場合の検査、あるいはセキュリティ監査等が該当します。
- (3) プロポーザル関連書類作成のために港区が配布した資料等は、港区の許可なく公表・使用することはできません。
- (4) 本業務への参加申込事業者が1者の場合であっても、各審査を実施します。
- (5) プロポーザルの参加に当たりプロポーザル参加者に生じた損害等について区は一切その責を負いません。
- (6) 電子メール等の通信事故については、区はいかなる責任も負いません。
- (7) 公正なプロポーザル選考が確保できないと判断した場合は選考を中止することがあります。
- (8) 業務委託に要する費用は、令和6年度予算として成立した額の範囲での契約となります。
- (9) 区は、事業候補者と契約を締結するにあたり、港区契約事務規則（昭和39年港区規則第6号）第39条の2の規定に基づき港区業者選定委員会に推薦し、審議を経ます。審議の

結果によっては契約を締結しない場合があります。

(10) 虚偽申請等不正行為が発生した場合は、事業候補者の取消、指名停止（登録事業者のみ）等のペナルティを課します。

## 11 選考結果の公表について

本業務の選考過程の情報は、全て区政情報です。区政情報は、「港区情報公開条例」の定めるところにより、原則公表です（ただし、同条例第5条に定めるものを除く。）。

事業候補者として選考された場合には、事業候補者選考過程と合わせ、提出された企画提案書を原則として区ホームページで公表します。企業秘密に関する記載があるなど、提案書原本の公表が難しい場合は、二次審査用に作成された企画提案書概要資料を公表します。

## 12 開示請求

提出された提案書等は、港区情報公開条例の規定による開示請求の対象公文書となり、開示決定される場合があります。提出された提案書の一部又は全部を、著作権法（昭和45年法律第48号）第2条第1項第1号に規定する著作物として、同法第18条第3項第3号前段かっこ書きに規定する意思表示をする場合には、提案書等に意思表示する旨及び該当箇所を明記してください。ただし、開示、非開示の判断は、提出していただいた提案書等の記載事項に基づき行うものではなく、提案書等を参考に、同条例に基づき区が客観的に判断します。

## 13 担当・連絡先

〒105-8511 港区芝公園1-5-25

港区企画経営部企画課新技術活用担当

電話：03-3578-2078

メール：minatol40@city.minato.tokyo.jp